

時期

トピックス

4月
下旬

■京都鉄道博物館が開業

4月28日、京都鉄道博物館(京都市下京区)が開業した。「地域と歩む鉄道文化拠点」をコンセプトに、29日にグランドオープンした同館。梅小路蒸気機関車館から引き継いだSL車から500系新幹線、昨年引退した「トワイライトエクスプレス」まで全53車両を展示する。運転士が実際に訓練用で使う「運転シミュレータ」や保線係員の仕事が体験できる軌道自転車なども設ける。

28日に行われた式典で三浦英之館長は「地域の学校や商店街、企業と連携し、このエリアを盛り上げていきたい。将来に向かって鉄道博物館や京都の博物館とも連携していきたい」と公式キャラクター「ウメテツ」と共にあいさつ。

開館時間は10時~17時30分(4月28日~5月8日は9時~18時30分)入館は17時まで。料金は、一般=1,200円、大学・高校生=1,000円、小・中学生=500円ほか。

また、JR西日本が京都鉄道博物館東側で温泉の試掘を2月に京都府に申請、許可を得ている。用途は未定としているが、温泉が出れば、一帯でホテルやレジャー施設などの商業開発を進めるとみられる。2012年に京都水族館がオープンし、2019年春に新駅の設置が予定されており、温泉開発が実現すれば、さらなる集客力の向上につながりそうだ。



■ルクア大阪、初年度来館者数は7700万人 東館前年の2倍に

JR大阪駅の商業施設「ルクア大阪」(大阪市北区)の初年度来館者数が7700万人に達した。来館者数は2015年4月1日~2016年3月31日に計測。目標の7000万人を開業後11カ月で突破。最終的に、東館「ルクア」単体の前年度入店客数のほぼ2倍となる7700万人で着地した。売上高は目標の770億円に対して98.8%の761億円とほぼ計画通りだった。

ルクア大阪は、大阪駅北口の「ノースゲートビル」東側にある「ルクア」と西側にある「ルクアイーレ」を一体化した商業施設。ルクアは2011年5月、ルクアイーレは2015年4月にオープン。駅型では国内最大級の店舗数約360店、売り場面積約5万3000平方メートルを誇る。

(参考情報)

大阪駅周辺では、2013年4月に開業したグランフロント大阪の初年度来館者数が5,300万人。2013年4月26日~2015年4月25日(2年間)の来場者延数は10,230万人。



5月
中旬

■京都にて、「京都プレミアムゴールデンウィーク 京の伝統と食のイベント」初開催

5月3日~8日、京都市役所前広場(京都市中京区)で、京都で初開催となる「京都プレミアムゴールデンウィーク 京の伝統と食のイベント」が開催された。主催はサントリー酒類(東京都港区)。

地元の市民やゴールデンウィーク期間に京都を訪れる観光客や、帰省で戻っている人に向け、京都の食材や伝統産業についての魅力を発信する同イベント。同時開催の「ザ・プレミアムモルツフェスティバル」では、1杯(300ミリリットル)200~350円で提供。和装の人には1会計ごとに100円引きとした。

京都中央卸売市場で調達した京野菜や肉、日本酒などの飲食ブースが設けられたほか、同日には「京こま」の「雀休(じゃっきゅう)」の実演ブースも設けられた。

オープニングにはサントリー京都支店長の大井清之助氏が着物姿で「当社の4つのビール工場のうちの1つは長岡京市のもので、天然水100パーセントで仕込みをしており、京都はゆかりが強い地。京都の野菜や肉、伝統工芸などの魅力を全国に発信していきたい」とあいさつし、来場を呼び掛けた。

京都のほか、「ザ・プレミアム・モルツ フェスティバル」が全国17都市開催のうち西梅田スクエア(4/28~5/8)、神戸ハーバーランドスペースシアター(5/3~5/8)の残り関西2都市でも同時期に開催された。



↑開催の様子(京都市役所前広場)



←西梅田スクエアの様子

■「枚方T-SITE」5月16日開業 関西初出店

5月16日、大阪府枚方(ひらかた)市の京阪枚方市駅前にカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)が手がける複合商業施設「枚方T-SITE」がオープンした。枚方は1983年に蔦屋書店1号店が開業した創業の地。T-SITEとしては代官山、湘南に続く3店舗目となる。

「生活提案型デパートメント」とし、書店とレンタルショップを核とした商業施設で、総面積5314坪は過去最大規模。音楽と映像を提供するTSUTAYAと蔦屋書店を核に、ファッション、雑貨、食などの物販から飲食店まで43の専門店が並ぶ(右図)。ターゲットも、プレミアムエイジ(団塊世代)から親子連れ、働く人まで幅広い。

従来の百貨店と異なり、ネット時代のリアル店舗のあり方を追求している。例えば、iPhoneやアンドロイドでダウンロードできる専用アプリ「T-SITE Passport」を利用すれば来店前に店頭在庫が確認できるほか、レストランの予約や駐車場の空車チェック、「Tマネー」での電子決済もできる。コンセプトは「スマホと一体化した百貨店」。枚方T-SITEで先行して試験サービスを行い、ほかのT-SITEにも導入予定。

TSUTAYAのスマホ「TONE」の販売カウンターも1階に設ける。トーンモバイルの石田宏樹社長は「新しい時代の百貨店を楽しむ方法を提案する」と話す。営業時間は7時~翌1時(営業時間は店舗により異なる)。



↓フロア一覧

フロア	カテゴリー	店舗
8F	レストラン	レストラン他
7F	リソな銀行	リソな銀行
6F	三菱東京UFJ銀行	三菱東京UFJ銀行
5F	子どもと学び	蔦屋書店(児童書)、ホーランド・ベビーストア他
4F	暮らしと美容	T-SITE COSME produced by @cosme他
3F	BOOK & CAFÉ	蔦屋書店 文具、T-TRAVEL他
2F	エンターテインメント	TSUTAYA(レンタル・販売)、Apple正規販売店他
1F	食マルシェ	蔦屋書店(料理)、TONE他

5月
中旬

販売店も併設



遊べる室内遊具



3階にLCCカウンターを併設

